

長泥地区 一部避難指示解除から1年 新たな解除に向けて

令和5年5月1日に、帰還困難区域の一部となる特定再生復興拠点区域と長泥曲田公園（拠点区域外では初）の避難指示が解除されて1年が経過しました。農業の再生に向けては、村と県が試験栽培を進めていて、2年目の実証で安全性が確認されれば、米は今年産から、野菜は来年産からの出荷制限解除に向けて、県や国との協議が行われる見通しです。

また、5月12日に長泥コミュニティセンターで開催された住民懇談会において、現在、帰還困難区域となっているエリアで整備しているイイタバイオテック株式会社の堆肥製造施設用地と施設で活用する資源作物栽培用地について令和7年春の避難指示解除を目指し国と協議すること、杉岡村長が説明し、住民の了承を得ました。用地の除染は既に行われていますが、村が設置した長泥地区環境回復検討委員会などが年間放射線量の確認検査を行い、村が結果を確認した上で、国や県と解除時期を協議します。今後もうひとつのステップを丁寧に進めていくことを、住民の皆さんと確認しました。



イイタバイオテック株式会社

長泥曲田地区に誘致した民間企業で、資源活用型の堆肥製造施設や資材置き場などの整備を進めています。来春の開業に向けて、求人も行っています。



学園NEWS!

学年を越え力を合わせて 前期課程の児童が田植え体験

いいたて希望の里学園の前期課程の児童が、5月23日、森永正男さん（前田・八和木）の水田で、田植えを体験しました。当日は、森永さんをはじめ、村民ボランティアの皆さんが協力。役場職員も応援に入り、子ども達と苗を植えました。

子ども達は縦割り班で活動し、上級生が下級生に田植えのコツを教えていました。また、田のぬかるみに足を取られた友達に「助けようか」と声をかけたり、抜けてしまった靴下を仲間で一緒に探したり。力を合わせて最後まで、笑顔で田植えを頑張りました。



感想発表で、来年は「さらに上手に!」「あまりドロドロにならずに植えたい」と話した5年生。楽しそうです。

いそ やま れい む 礧山麗魂さん

わんぱく相撲の大会で優勝!

5月6日、南相馬市原町区の市相撲場で開かれた「第29回わんぱく相撲大会原町場所」3年生の部にて、いいたて希望の里学園から出場した礧山麗魂さんが優勝に輝きました。

本大会は学童相撲大会も兼ねた大会であり、南相馬市と飯館村の小学生たちが、学年や男女別の個人戦で熱戦を繰り広げ、稽古の成果を発揮しました。

礧山さんは試合前から勝つ自信満々で試合に臨み、見事に優勝をつかみ取りました。



土俵の上で、小学生の熱戦が続きました。堂々の優勝を飾った礧山さん(左)。気迫のこもった取り組みです。



菅野さんには、避難直後の着任から長年にわたりご尽力をいただきました。本当にありがとうございました。

教育委員・菅野クニさん 教育振興への功労を称える表彰

5月22日、飯館村役場にて「全国市町村教育委員会連合会功労者表彰」に係る表彰状の伝達が行われました。表彰を受けた菅野クニさん（宮内）は、東日本大震災のあった平成23年の就任から令和5年の退任までの3期12年間、教育委員として村の教育行政にご尽力いただきました。

菅野さんは村の特産品であるナツハゼの生産者でもあり、「今後はジャムの生産や地域づくりで村の力になりたい」と話していました。